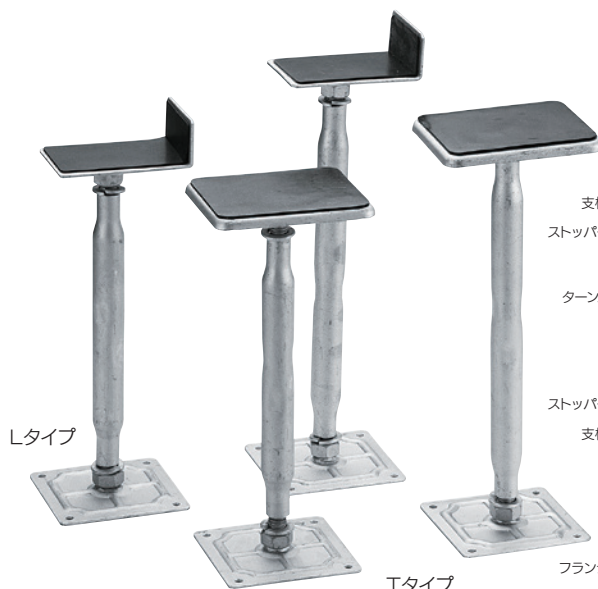
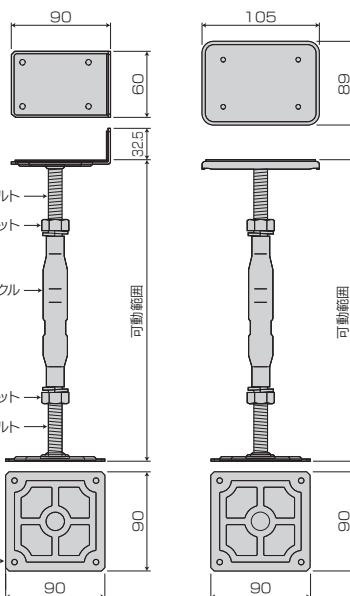


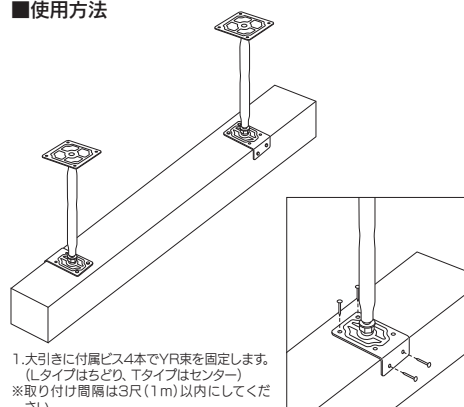
ターンバックル方式で高さ調整が自由自在



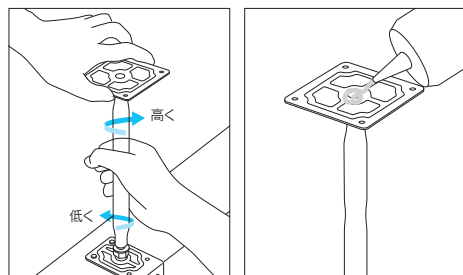
■寸法図



■使用方法

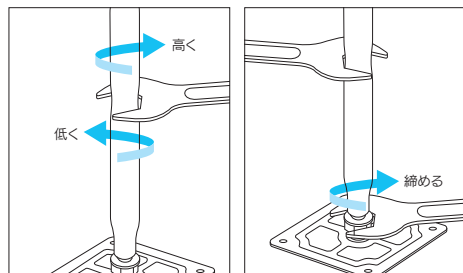


1.大引きに付属ビス4本でYR束を固定します。
(Lタイプはちどり、Tタイプはセンター)
※取り付け間隔は3尺(1m)以内にしてください。



2. フランジ部を片手で固定しながら、ターンバックルを手で回転させ、おむね使用する高さに調整しておきます。

3. フランジ底面と土間(東石)面のゴミ・汚れ等を取り除き、接着剤(別売り)をフランジ底面にまんべんなく塗布します。



4. ターンバックルをスパナ(19mm)で回転させ、高さを微調整します。

5. 高さ調整後、ターンバックルにスパナ(19mm)を掛けて固定し、上下のストッパーナットをもう1本のスパナ(19mm)で締め付けてください。

用途・特徴

1. YR束は、大引きを支える床束として使用します。
2. ターンバックル方式の為、高さ調整が楽に出来ます。
3. 本体大引き受けにゴム貼りすることで、木材との接触音防止に配慮しています。

使用方法

1. 大引きに付属ビス4本でYR束を固定します。
※Lタイプは大引きにちどり(交互)に、Tタイプは大引きのセンターに取り付けます。
- ※取り付け位置は、前後左右、おおむね間隔3尺(1m)以内となるように取り付けます。
2. フランジ部を片手で固定しながらターンバックルを手で回転させ、おおむね使用する高さに調整しておきます。
※高さ調整は片方のボルトだけを廻さずターンバックルを回転させて行ってください。
※支柱ボルトの黄色い印が見えない範囲でご使用ください。
3. フランジ底面と土間(東石)面のゴミ・汚れ等を取り除き、接着剤(別売り)をフランジ底面にまんべんなく塗布します。次に、YR束が取り付けられた大引きを反転させ所定の位置にセットし、フランジの穴から接着剤がみ出すまで圧着します。
※接着剤が硬化するまでにYR束の固定が必要な場合は、付属のコンクリート釘を2本打ち込み固定します。
4. ターンバックルをスパナ(19mm)で回転させ、高さを微調整します。
5. 高さ調整後、ターンバックルにスパナ(19mm)を掛けて固定し、上下のストッパーナットをもう1本のスパナ(19mm)で締め付けてください。
※上下ナットとも右回転で締まります。
- ※上下ストッパーナットの締め付けが不完全ですと固定が不十分になり、床レベルの低下や床鳴りの原因となる場合があります。

商 品 名	YR束 YR-1827L・YR-2438L・YR-3045L・YR-3953L YR-1827T・YR-2438T・YR-3045T・YR-3953T
表 面 処 理	メッキ処理(ダクロ相当)
付 属 部 品	専用ビス／ビス(φ4×40)…4本(大引き用) 専 用 釘／コンクリート釘(φ3×25)…2本
入 数	25個／ケース(専用ビス:100本、専用釘:50本)